

令和２年度 第１回碧南市総合教育会議 会議録

１ 日時 令和２年８月２０日（木） 午後３時３０分から午後４時２５分まで

２ 場所 碧南市役所４階 庁議室

３ 出席者

（１）碧南市長

（２）教育委員会

委員 高橋世利子、委員 池田香代子、委員 伊藤正幸、教育長 生田弘幸

（３）事務局職員

総務部長 奥谷直人、教育部長 岡崎康浩、経営企画課長 生田和重、経営企画課主幹 堀田葉子、経営企画課課長補佐 中川知之、経営企画課政策推進担当係長 亀島有香

４ 傍聴者 ０人

５ 議題

（１）碧南市教育大綱（第２期）の策定について

（２）意見交換

市長あいさつ

（市長）

こんにちは。日頃より碧南市の子どもたちのために色々な形でご尽力いただきましてありがとうございます。まずはコロナウイルスですが、碧南市では現在のところ学校関係では発生していないということで、今後も注視していくということになります。

また、小学校の修学旅行は行う方向ということで、人ごみが多い所を避けて実施して、子ども達の思い出をしっかりと作ってあげられるのはよろしいのではないかと考えております。教育委員の皆さんにおいても色々と心配なことは多いですが、何とかコロナウイルスが早めに収まってもらいたいと考えております。

議題（１）碧南市教育大綱（第２期）の策定について

庶務課長が資料に基づき説明した。

（市長）

委員のみなさん、ご意見等はございませんか。

(委 員)

コロナの関係で教育の中でも色々な問題になっていると思いますが、具体的なものが施策の中には盛り込まれていないようです。教育大綱の中にも今後はこういった形で入れていくのでしょうか。

(経営企画課長)

教育大綱は第6次碧南市総合計画の教育文化分野を大綱と位置付け、策定する方針ということなので、総合計画のことでお話をさせていただきますと、総合計画は、総合計画審議会により審議を行っております。その中には医師会や薬剤師会、歯科医師会の先生も入っております。市議会において同様の意見もいただいたのですが、審議会の委員の皆さんに伺ったところ、コロナということで申し上げると、近々ワクチンの開発などが進むであろうという点から5年10年のスパンの計画の中にことさら盛り込む必要はないのでは、という意見をいただき総合計画全体の中にもコロナという表現は使用していません。そうは言っても感染症対策ということでは市全体を通して考えていかなければならないので、大きく感染症としてとらえて表現させていただいている部分はあります。

(総 務 部 長)

具体的に現在の記載の中では、教育大綱（案）の4ページ、2の学校教育の ①教育内容や環境の充実 の最下段 『不測の事態に伴う学校休業を想定した、学びの保障について対策を進めます。』の部分が、経営企画課長が説明いたしました、総合計画審議会等の意見をいただいて、色々な事態が想定される中で付け加えさせていただいたところになります。このような記載の中で、毎年度毎年度必要な事業については、これに基づいて進めていきたいということでございます。

(市 長)

家庭教育の支援や家庭教育の役割などが入っていないのでは。そのあたりが重要な感じがするので少しでも入れた方がよいのではと思います。どういう風に子どもを育てるのかというのはなかなか難しい時代になってきています。

(経営企画課長)

総合計画の学校教育の部分の中では記載していないのですが、就学前も含めた子育て支援というところでは『切れ目のない支援体制の確立』という部分で触れています。

(市長)

総合計画の中で教育の部分でも記載しておく方が良いのではないのでしょうか。

(委員)

2 ページの基本的方向の学校教育のところ、『よりよい社会をつくるという理念を家庭や地域社会と共有し、これからの時代に求められる学校教育の充実をめざします。』とあります。地域と家庭が協力して学校生活が上手くいくように、市長は地域と家庭を大事にしているのだと私は地域の皆さんに言っております。先ほど言われていた就学前の切れ目のない支援体制についても、就学して学校に通う前からずっと碧南市としては家庭も含めて地域と共に連携している良い街ですと、教育委員として皆さんにご説明させていただいております。

(市長)

家庭でもしっかり教育ができると良いと思います。そうすると学校での教育が少し楽になると思います。

議題（２）意見交換

(委員)

ウィズコロナの中では、現実的に大綱案に書かれていることができていないなと感じてしまいました。またコロナでお休みだった期間に、かなり子どもと密に接することができ、今までにない日常生活だったのですが、学校任せにしていたのを自分が子どもを1日中みていて、学校からもう少し家庭に協力を求めることをおっしゃっていただいてもいいのかな、と思いました。

(市長)

保育園や学校任せになって、それでよいのかという問題意識はありますよね。もう少しコミュニケーションを取ったほうがよいとか。

(委 員)

何か忘れていたものをよみがえらせてもらった気がします。

(委 員)

今回学校では、英語教育を含めて充実しようかと思った矢先のコロナなので、地域の中では残念な思いをされています。休み中、英語教育に関しては宿題があまり出ていなかったようで、塾に行かれている方との差が出てしまうのでは、と地域の方から聞いております。

外国人が多くなってきたということでは、碧南市は予算的に手厚くスクールアシスタントを配置しているので助かっていると聞いています。この休みの間に、外国籍の子どもはどうしていたのだろうと思いました。日本語がわからない親が多く、子どもが勉強を教えてと言ってもそこがわからなくて、と聞いております。ただ、他市に比べると碧南市はスクールアシスタントが多くいるので助かっていると聞いております。

あと、プログラミング教育についてもコロナの影響で、主要である授業を優先するために計画的には遅れていくのかなと懸念しています。全体的には他市に比べて色々なところで教育予算をつけていただいているのでとても助かっております。ありがとうございます。

(教 育 長)

本日市内のある小学校に行きましたら、来年度の新入生の10%が外国籍ということです。家を買って住む家庭が多いです。これは今までにない割合です。

(市 長)

家を買うということはそこに定着するということですので、その子はほぼ日本国籍とんでも良いと思います。子どもについては学校の中ではあまり気にしなくてもよいのでは。

(委 員)

学校の中ではそうですね。ただ、先ほど市長が言われたように、家庭教育となると、日本の文化を取り入れた家庭教育ができると良いのですが。国が違くとゴミの捨て方、掃除の仕方、トイレの入り方、ご飯の食べ方などが違うので、日本では当たり前だと思っていることが、親を通じてだと難しいこともあります。子どもは親のやっていることを真似しますので。

(教 育 長)

小学校にアシスタントを付けて強化しているので、碧南市は中学校では落ち着いています。小学校の小さいうちに日本はこういうものであってこういう風にやるのだよ、と言ってきたから日本人と外国人が一緒に共存できる碧南市ができたのです。

(市 長)

ということで、教育大綱にも外国人も含めた家庭教育の支援を記載しておいてください。

(教 育 部 長)

外国籍の方に特化したことではなく、家庭教育の充実を支援しますということで入れていきたいと思います。

(総 務 部 長)

教育大綱だけではなく、第6次の総合計画の記載から少し修正していこうと思います。

(市 長)

お願いします。他に何かありますか。

(委 員)

やはり今回のコロナのことで、何が無駄だったのか今回本当にはっきりしたのではと思います。学校教育でもそうなのですけども、学校消毒とか、様々な事柄が全部先生に押し付けられてしまうのではないかということも、ニュースで出ていて、その辺で、本当に必要なものは何かということが、わかってくるのではないかと思います。

市長が言われる家庭教育、そういったものを碧南市は本当にちゃんとやっていただいていると思います。教育長がいわれるように、学校も本当に安定していますし、気持ちも穏やかに健やかに子供たちもすくすくと育っていると思いますので、このまま発展していってもらったら良いかなと思います。

私が感じることは、とにかく街が綺麗であると心も穏やかになるとと思います。家庭も含めてです。植栽を綺麗に揃えてもらおうとか市の施設などの周りをきれいにしてもらおうとか。

(市 長)

公衆のトイレ、公園とか碧南市は特にトイレを重点的にキレイにしていこうとしています。

(教 育 長)

碧南市では教育委員さん方に招集をかけるとすぐに動いていただけるので助かっています。あと、校長会を臨時で行ってもすぐに集まってくれるので、よそに比べると対応が早く、何事も早くできます。距離的にも規模的にも碧南市はちょうど良いです。

(市 長)

その他事務局より何かありますか。

(教 育 部 長)

ただいまご意見を頂戴いたしましたので、それをふまえて事務局内で調整し教育大綱案につきましては改めて報告をさせていただきたいと思います。なお教育大綱は第6次碧南市総合計画の教育文化分野を大綱と位置付け、策定する方針ですので、これから行われます総合計画のパブリックコメントでご意見をいただいた場合は再度検討し、特にご意見がなかった場合は大綱についてのパブリックコメントは行わないこととしますのでよろしくお願いいたします。